



新築[簡易版]

評価結果

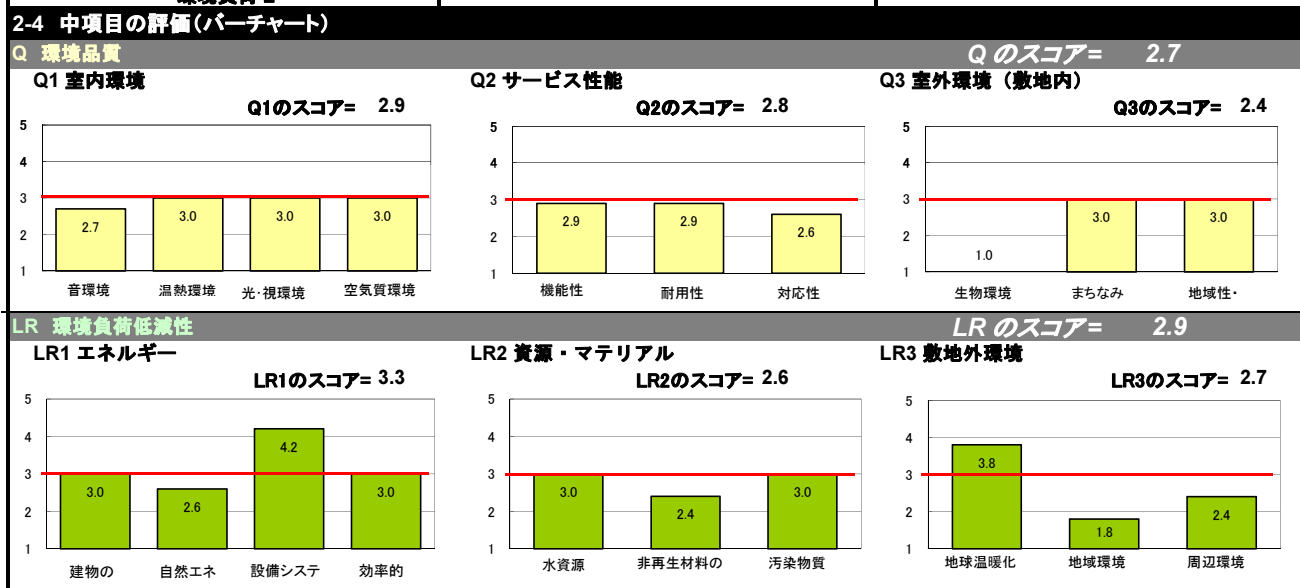
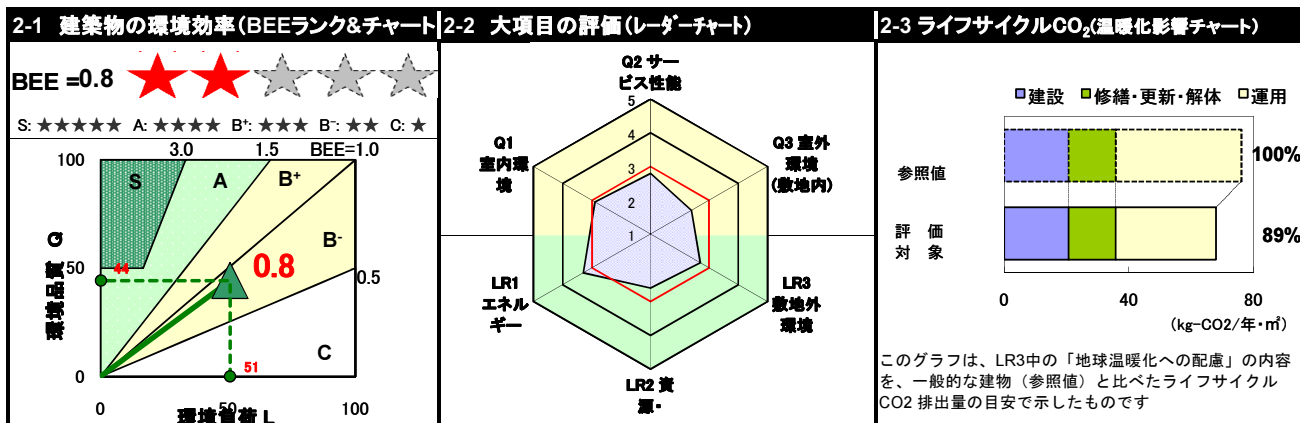
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)常盤出口町団地	階数	地上4F
建設地	京都市右京区常盤出口町5-3、5	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、法22	平均居住人員	37 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2012年6月30日
敷地面積	1,105 m ²	作成者	安倉裕介
建築面積	655 m ²	確認日	
延床面積	2,042 m ²	確認者	

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 地域の景観に調和する意匠とした		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。デイスターセンター内は禁煙とし、非喫煙者に配慮している。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。バリアフリー法の基準以外にも高齢者が利用し易いようにした。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。屋根を勾配屋根とし、計画地周辺の景観に調和するようにした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される